

# 渋谷区医師会 「在宅医療・介護連携だより」

令和元年

7月号

Vol.2

## 1. 渋谷区医師会 第1回 地域包括ケア学習会

日時：2019年5月24日（金）

場所：渋谷区医師会 教室

## 2. 渋谷区医師会 在宅医療・介護連携の今年度の取り組みについて



# 1. 渋谷区医師会

## 第1回 地域包括ケア学習会

### 『精神疾患のある高齢

### 者の支援』～地域の中で

### どのような資源を利用

### して支援していくか～

令和元年5月24日(金)に渋谷

区医師会主催「渋谷区医師会 地域包括ケア学習会」が19時より渋谷区医師会教室で開催されました。

これは主に地域の介護職(ケアマネージャー、介護事業所等の職員)の方を対象に、今年度から新たに立ち上げた学習会です。企画、運営は、主として医師会所属の包括支援センター(ひがし健康プラザ、大向)、在宅医療相談窓口、ひがし健康プラザ居宅介護支援事業所の職員が行い、主に医療分野に関する学習会を通じて、医療的知識の向上、ならびに医療と介護関係者の相互理解を図ることを目的としております。

第1回は「精神疾患のある高齢

者の支援」地域の中でどのような資源を利用して支援していくか」という内容で、恵比寿保健相談所保健指導主査の岡本千草氏を講師にお迎えし、事例検討のグループワークと講演を行いました。今回は学習内容も踏まえ、職種を限定せず幅広く参加していただき、区内の包括支援センター、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、訪問、通所介護事業所、リハビリテーション関係などから総勢70名余の方にご参加いただきました。



開会の挨拶：リー啓子 副会長(現 会長)

渋谷区医師会リー啓子副会長(現 会長)による開会の挨拶の後、岡本氏から事例の説明があり9グループに分かれてのグループワ

ークを行いました。高齢者夫婦による虐待事例に関して、①どんな理由で、何を、どのようににアクセスメントする必要があるか、②どの時点で、どういう理由により、関係機関と連携するか、③どのようなサービス提供や方法を検討するか、について話し合いを行い、その後各グループから発表を行いました。

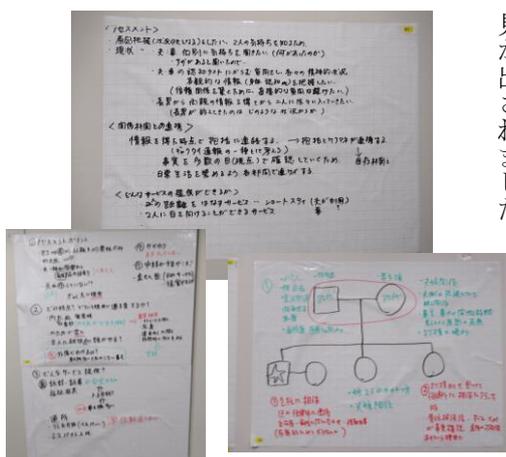


グループワークの様子



発表の様子

グループからの発表では、地域包括支援センターや行政と協力して対応に当たること、緊急性の評価、ご夫婦別々のアクセスメントや分離の必要性など、さまざまな意見が出されました。



検討結果(一例)

その後の講義では、調査結果からみる高齢者虐待の実態について解説していただき、虐待対応の留意点、当日の事例に対するケアマネジメント、地域資源としての保健所事業についてお話しいただきました。

高齢者虐待の実態については、相談・通報件数、虐待判断件数ともに増加傾向にあり、虐待者の続柄については、息子、夫、娘の順に多いこと、虐待による死亡例も増えてはいるものの報告があることを説明いただきました。

虐待対応の留意点としては、虐待は対応を講じないと死に至ることもあり、組織対応が原則であること、情報伝達を5 W 1 H (Who 誰が、When いつ、Where どこで、What 何を、Why なぜ、How どのように)に沿って、正しく伝えることも大切であること、虐待者も被害者の様相を示すことがあること、などをあげていただきました。

精神保健に係る保健所事業としては、①保健師による相談対応②専門医による精神保健相談があることを解説いただき、精神科入

院の形態として、(ア)任意入院、(イ)医療保護入院、(ウ)応急入院、(エ)措置入院、(オ)緊急措置入院、について講義していただきました。

今回は、90分という限られた時間の中でしたが、グループワークで議論をして自ら考え、その後の講義で理解を深めるという形式の学習会で、参加者からは大変好評でした。また区内の多職種が一堂に集まる機会は多くないため、有意義であり、今後も継続して開催してほしいという声もいただきました。

アンケートの集計結果を示しましたが、今後の学習会のテーマとして、「地域づくりによる介護予防の推進」の区内での取り組み、ターミナルケアの医療介護連携、認知症や精神疾患について、成年後見人制度について、など様々のご意見をいただきました。皆様のご意見を参考に、医師会では引き続き、本学習会を年2回ほどの予定で開催していきたいと考えております。(在宅医療部担当理事

黄川田 雅之)

### 平成29年度調査結果から見る高齢者虐待

平成29年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況に関する調査結果(全国1741市町村、47都道府県)

#### 養護者による高齢者虐待

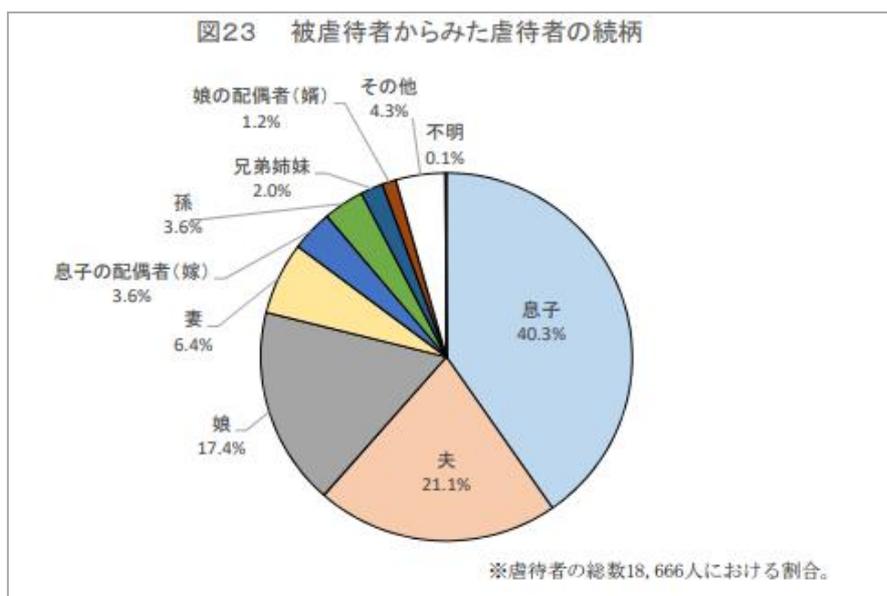
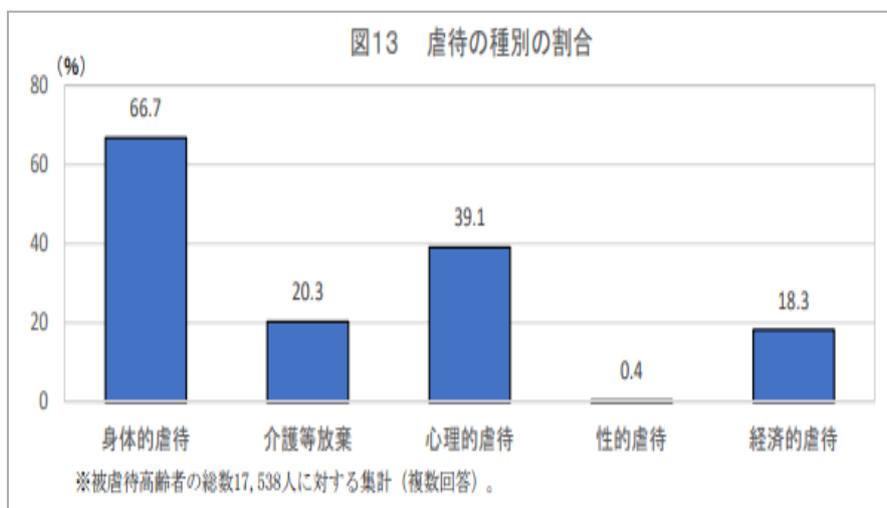
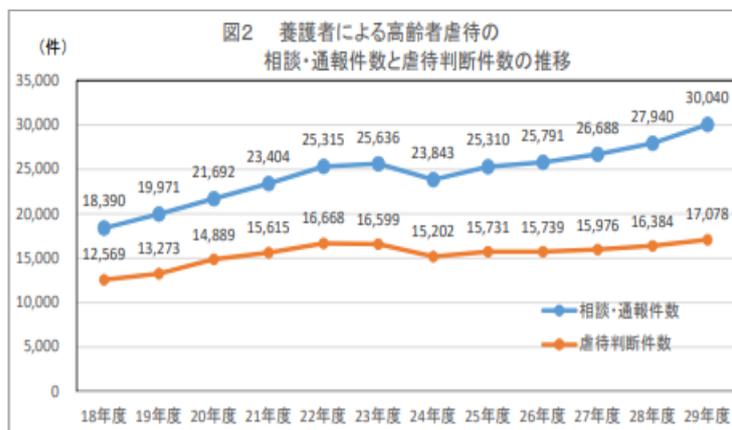
- (1) 虐待判断件数17,078件、相談・通報件数30,040件
- (2) 相談・通報者: 介護支援専門員9,163人(28.1%)、警察7,499人(23.0%)
- (3) 事実確認状況: 相談・通報の受理から事実確認開始までの中央値 0日  
相談・通報の受理から虐待判断までの中央値 1日
- (4) 虐待の発生要因: 虐待者の介護疲れ・介護ストレス1,285件(24.2%)、虐待者の障害・疾病1,160件(21.8%)
- (5) 虐待の内容: 身体的11,704人(66.7%)、心理的6,853人(39.1%)、介護放棄3,566人(20.3%)、経済的3,202人(18.3%)



講師: 恵比寿保健相談所保健指導主査 岡本氏のスライド

閉会の挨拶: 井上荘太郎 会長(現 理事)





【図 1.2.13.23】

(出典：厚生労働省\_\_平成 29 年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果)

### 保健師による相談対応

**目的** 『精神保健福祉法』『障害者総合福祉法』に基づく業務

保健師が区民やその家族、関係者の精神保健に関わる相談に対応、専門的かつ具体的な生活助言や支援を行う

**対象者**



一般住民



在学・在勤者

**方法**



家庭訪問



電話相談



面接相談

**担当窓口**

区内3相談所(中央、恵比寿、幡ヶ谷保健相談所)の地区担当保健師が対応

### 精神保健相談(予約制)

**目的**

専門医が区民本人やその家族、関係者の精神保健に関わる相談に対応、専門的助言や医療機関紹介など具体的な助言や支援を行う

**対象者**



一般住民



在学・在勤者

**方法**



面接相談

(家庭訪問)

**担当窓口**

区内3相談所(中央、恵比寿、幡ヶ谷保健相談所)の地区担当保健師が対応

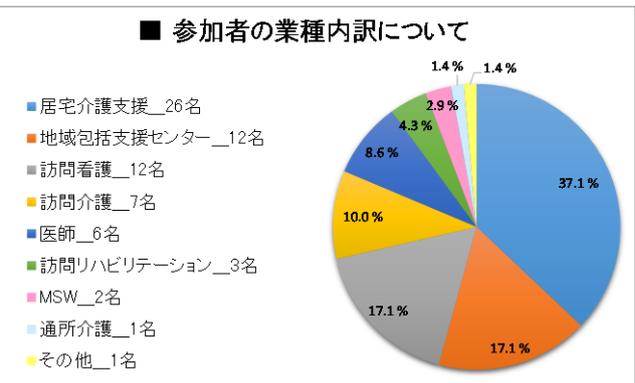
講師：恵比寿保健相談所保健指導主査 岡本氏のスライド

令和元年 「渋谷区医師会 地域包括ケア学習会」 (5 月 24 日)  
アンケート集計結果

n=59 (回収率 84 %) 出席者\_70 名  
(関係者除く)

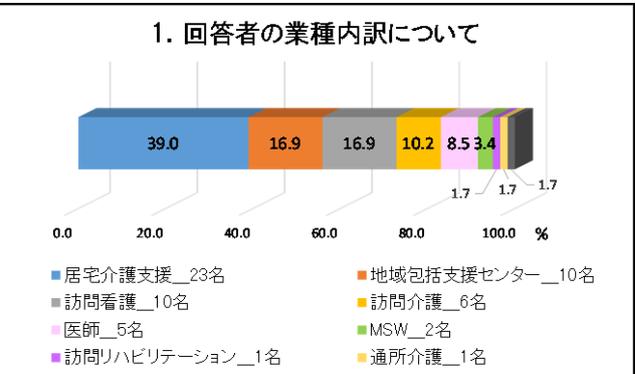
■ 参加者の業種内訳

		count	rate(%)
1	医師	6	8.6
2	地域包括支援センター	12	17.1
3	居宅介護支援	26	37.1
4	訪問看護	12	17.1
5	訪問リハビリテーション	3	4.3
6	訪問介護	7	10.0
7	通所介護	1	1.4
8	MSW	2	2.9
9	その他	1	1.4
	合計	70	100.0



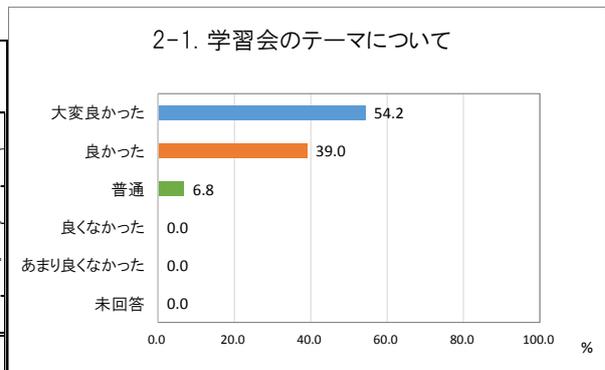
1. 回答者の業種内訳

		count	rate(%)
1	医師	5	8.5
2	地域包括支援センター	10	16.9
3	居宅介護支援	23	39.0
4	訪問看護	10	16.9
5	訪問リハビリテーション	1	1.7
6	訪問介護	6	10.2
7	通所介護	1	1.7
8	MSW	2	3.4
9	未回答	1	1.7
	合計	59	100.0

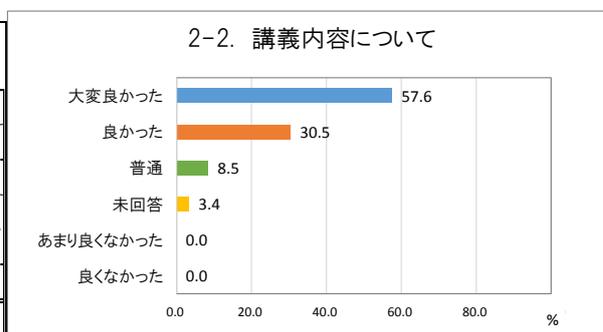


2-1. 学習会のテーマについて

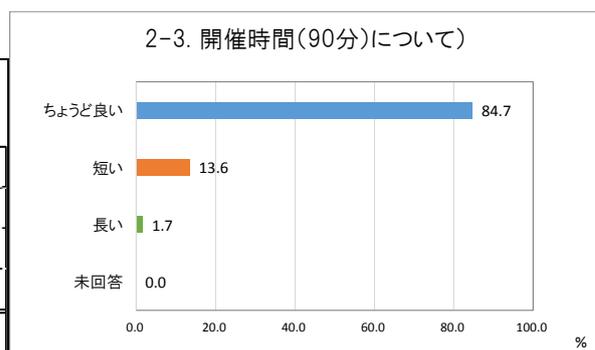
		count	rate(%)
1	大変良かった	32	54.2
2	良かった	23	39.0
3	普通	4	6.8
4	あまり良くなかった	0	0.0
5	良くなかった	0	0.0
6	未回答	0	0.0
	合計	59	100.0



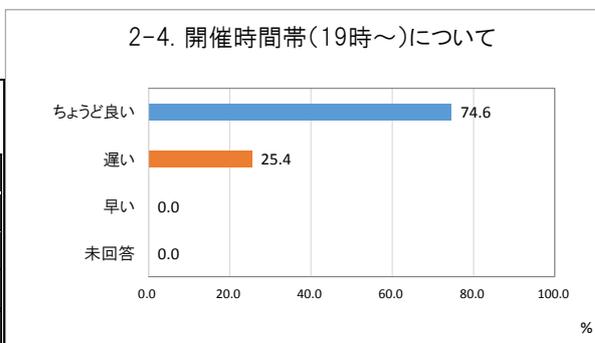
2-2. 講義内容について			
		count	rate(%)
1	大変良かった	34	57.6
2	良かった	18	30.5
3	普通	5	8.5
4	あまり良くなかった	0	0.0
5	良くなかった	0	0.0
6	未回答	2	3.4
合計		59	100.0



2-3. 開催時間(90分)について			
		count	rate(%)
1	ちょうど良い	50	84.7
2	短い	8	13.6
3	長い	1	1.7
4	未回答	0	0.0
合計		59	100.0



2-4. 開催時間帯(19時～)について			
		count	rate(%)
1	ちょうど良い	44	74.6
2	早い	0	0.0
3	遅い	15	25.4
4	未回答	0	0.0
合計		59	100.0





## 2. 渋谷区医師会

### 在宅医療・介護連携の

### 今年度の取り組みについて

渋谷区医師会では、毎年在宅医療と介護の連携のための様々な研修会を企画し、開催しております。今後予定している研修会は、①多職種研修会、②病院内での理解促進研修、③第2回地域包括ケア学習会、です。

①の多職種研修会は渋谷区の委託を受けて行う研修会ですが、昨年度は平成31年2月5日に医師会教室で、「在宅医療・介護連携の課題とその解決策について」をテーマとして、グループワークを行っていただきました。区内の医療介護関係者83名にお集まりいただき活発な討議が行われました。

②病院内での理解促進研修は、東京都の在宅療養研修事業の一つとして、昨年度から新たに行っている研修会です。昨年度は3月12日に日本赤十字社医療センターで120余名にご参加いただき開催しました。「要介護認定の仕組みと

介護認定審査会における判定方法について」の講演と、「在宅医療の困難事例に多職種で支え合うには」をテーマにパネルディスカッションを行いました。詳細は渋谷区医師会「在宅医療・介護連携だより」1号に掲載しております。今年度も、より充実したテーマでの研修会、学習会を企画しますので、皆様奮ってご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

(在宅医療部担当理事

黄川田 雅之、黒堀 ゆう子)

## — 編集後記 —

盛夏の候、木々の葉が生い茂る季節となりました。

渋谷区医師会では、今年度も引き続き在宅医療・介護連携推進のため、多職種の方々との研修会を企画していきます。地域の関係職種の方々との顔のみえる関係づくりを目指してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

また、渋谷区文化総合センター大和田にて「渋谷区在宅医療相談窓口」を開設しています。介護・医療が必要になっても、住み慣れた自宅で安心して療養生活を続けられるように、看護師・介護支援専門員・社会福祉士の専門職員が相談・支援を行なっています。介護・福祉機関と医療機関との連絡・調整も行ないますので、お気軽にご相談ください。

### 【渋谷区在宅医療相談窓口】

T E L : 3 7 7 0 - 0 5 2 7

受付時間：月～金曜日 9時～19時（休日：土・日・敬老の日を除く祝日・年末年始）

所在地：渋谷区文化総合センター大和田1階 渋谷区桜丘町23-21

### 発行所

〒150-0031 渋谷区桜丘町23番21号

渋谷区医師会 電話（代）3462-2200